

ー プログラム ー

外 卓『熊野は世界的な観光地!?』
田辺市熊野ツーリズムビューロー
国際観光推進員 ブラッド トウル様
(Mr. Brad Towle)



- ①なぜ、私は熊野に落ち着いたのか
- ・1999～2002年まで、ALT（英語指導助手）として旧本宮町で生活し、熊野の魅力を理解していた。機会があれば、またいつか、Uターン出来ることを期待していた。
 - ・ALTの仕事が終わった後、世界遺産登録や、市町村合併など、大きな変化があり、新田辺市を世界的な観光地にするためのプロモーション組織【田辺市熊野ツーリズムビューロー】が設立された。
カナダのロッキマウンテン(世界自然遺産)でガイドをしていたことや、愛地球博でホスティングスタッフをしていたこと、また世界中を旅行したことなど、自分の経験や能力を活かせる仕事だと思い、ビューローの採用試験を受験し合格した。
- ②今、私は何をしているのか
- ・外国人が来訪しやすくするために情報の整理と発信。
 - ・市内を中心とした、外国人受入のための各種サポート。
- ③熊野が世界的観光地になるためには
- ・田舎らしさ、熊野らしさ、田辺らしさを永々と守り続けること。
 - ・人と自然がおりなす文化的景観を維持すること。
 - ・バランスのとれた観光振興を推進し、現地の生活者の文化、風習などが壊れないよう配慮すること。
 - ・上質な個人旅行者を誘客し、持続可能な観光地をめざす。
 - ・周辺の自治体や観光団体と協力し、広域的な視点で取り組むこと。

代理記載：田辺市熊野ツーリズムビューロー
浦野 泰之様

2006-07 Weekly Bulletin No.717 2007年4月3日(火)

Tanabe Hamayu Rotary Club

率先しよう

2006-07年度国際ロータリーローター

RI DISTRICT 2640

田辺はまゆうロータリークラブ
クラブテーマ：「志は大きく、モチベーションを高め、愛と和の手をつなごう！」
会長：矢田 篤司 幹事：三谷 実 会計委員長：西嶋 明美
事務所：〒646-0032 田辺市下屋敷町34 TEL・FAX 0739-26-6181
例会場：田辺市湊655番地 新羅神社会館 TEL 0739-22-0155
例会日：毎週火曜日 18：30
URL：http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/
E-mail：t-hamayu@vm.aikis.or.jp

・国際ロータリー会長
William B. Boyd
・2640地区ガバナー
三軒 久哉

☆ ゲストプロフィール ☆

【氏名】 Brad Towle (ブラッド トウル)

【性別】 男

【国籍】 カナダ

【略歴】

- 1994～ マトニバ大学スポーツサイエンス学部(4年)
- 1998～ ケベック大学フランス語学部(1年)
- 1999～ 旧本宮町でALTとして勤務(3年)
- 2002～ ファニールバインリゾートにて日本人ツアーガイド・スキーインストラクター(冬季2シーズン)
- 2003～ 世界遺産 カナディアンロッキーにてプロのハイキングガイド(夏季2シーズン)
- 2005～ 愛・地球博カナダ館ホスティングスタッフ(半年)
- 2005～ 北海道ルスツリゾートにてスキーインストラクター(冬季2シーズン)
- 2006～ 世界遺産 カナディアンロッキーにてプロのハイキングガイド(夏季1シーズン)

にこにこ箱
田辺はまゆうRC
坂口富茂 朝日を背にしたヤタガラス(?)を撮影しました。

和佐昌彦 去年無残に折られた桜も花芽を付けている様で一安心です。

北山和弘 最近イカ釣りにはまっています。2.5kg、2.7kgと調子がいいです。夢の3kgオーバーをねらっています。

西嶋明美 ブラッド トウル君、卓話ご苦労様です。上手な日本語と聞きます。日本の文化と伝統の広報に尽くされますこと感激です。

坂本信也 " "

坂本恵子 山本 啓 原田武俊 菊池正紀
南 憲男 川本博司 中野博行 辻 諒淳
勘代康範 矢田篤司 吉本紳華 楠本律子
田辺市熊野ツーリズムビューローよりブラッド
トウル様 卓話よろしくお願ひします。



2006-07年度
国際ロータリーテーマ
「率先しよう」
—LEAD THE WAY—
ウィリアムB・ボイド
RI会長

創立 昭和28年1月8日

TANABE

District 2640 田辺ロータリークラブ



ROTARY

Club Weekly Bulletin

第2687回 Vol. 55 No. 43 2007年5月31日

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 坪井 敏行
 幹事 三前 剛
 会報委員長 新井 康司
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp

プログラム



『熊野は世界的な観光地!?!』

田辺市熊野ツーリズムビューロー
国際観光推進員
ブラッド・トウル様

こんにちは。私は昨年2006年9月から田辺市で観光の仕事をするためにカナダから来ました。

実は今回が初めてではありません。1999年～2002年までの3年間、本宮町でALT(英語の先生)をしていました。その後カナダへ帰り、ロッキー山脈で日本人向けのハイキングプロガイドをしていました。冬はスキーインストラクターなどガイドの仕事をしていました。でも、その間ずっと熊野の山々が私を呼んでいる声が聞こえるような感じがしました。

今の仕事をするようになったのは、とにかく「運が良かった」と思うんです。合併が良かったのか悪かったのか私にはわからないけれど、私にとってはとても良かった。熊野が世界遺産登録され、それぞれの市町村にあった観光協会が合併によって統一され「田辺市熊野ツーリズムビューロー」が出来、こっちで仕事をやってみないかと声がかかったんです。田辺市に来て3日目に言われたのが「外国人観光客にとって何が必要か、3年間のプランを作ってほしい」と言われました。3日目で3年間の、ですよ。これは大変と思いました。

メインとなる仕事は情報整理とその発信です。世界遺産登録されたけれど、バスの時刻表、案内版、ホテルメニュー、宿泊先の説明など外国人向けには何もなくて、言葉にしても統一されていない状況を何とかしなければいけないのです。やらなければいけないことは山ほどあるけれど、頑張らなくてはいけません。

「熊野は世界的な観光地になるか」と聞かれれば、

「間違いなく、なる」と私は答えます。そのためにしなければならないことは、今の「田舎らしさ」「熊野らしさ」を守り続けること。コンクリートの工事は作りすぎないで自然を大切にすること、現地の生活、文化、風習などを守ることです。

外国から来る人は日本の文化にふれたいから来るのです。しかし、丁寧に案内をしなければ熊野の魅力を理解するのは難しいです。「熊野」は京都や奈良のように建物やその景色だけを見て「素晴らしい」というものではありません。広い範囲とそこにある生活や文化、人、道、自然、歴史そのものが「熊野」だからです。

世界的な観光地にするためには広域的な取り組みが絶対必要です。私は世界中に「熊野」の魅力を発信し、世界中から観光客に来てもらい感動を与えたいと思っています。たくさんの方々の協力が必要です。みなさん、どうぞ力を貸してください。そしてみんなで「熊野」を世界に通用する観光地にいきましょう。もっと話したいけれど時間がない。今日は話を聞いてくださってありがとうございました。